



徳島県立富岡西高等学校 1年次通信③冬休み特集号

「自律・人間力・挑戦」
～挨拶・掃除・返事・身だしなみ～

Greeting・Cleaning・Response・Dress Code

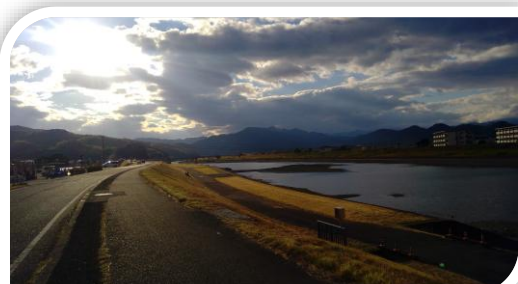
徳島県立富岡西高校に入学をして、約9カ月が経とうとしています。12月に入り、寒さを感じる日がありましたが、軒並み穏やかな日が続いております。今年も秋の季節が短く感じられます。2学期には富西祭が実施され、前日祭・文化祭・体育祭が行われました。各クラスで準備をした合唱コンクールやダンスパフォーマンスには活気が溢れていました。富西生になってきたと感じた瞬間でした。文化祭においては、多くの保護者や家族の皆さんにおいでいただきました。さらには、PTA役員の皆さまに出店頂いたバザーにつきましても、たいへん盛況でした。来年度もこのような催しを実施できることを期待しております。また、11月上旬には、高校文化部の祭典である高校文化祭において、その活動の発表や展示が徳島市を中心に開催され、1年次生徒も多くの生徒が参加し、優秀な成績を収めました。12月8日・9日には、姉妹校である新化高級中学校から約40名の生徒と教職員を迎えるとともに、15日から19日まで1年次生徒14名と2年次生1名と教員3名が台湾を訪れ、相互交流をはかりました。

さて、いよいよ冬休みを迎えます。まず、①この1年の様々な活動や身の回りの振り返り、②新しい年に向けての決意、③家族の団欒、を行って欲しいと思います。

入学当初より1年次の目標を、「自律・人間力・挑戦」～挨拶・掃除・返事・身だしなみ～の徹底としています。少しずつ意識をして目標を達成していきましょう。この根本がしっかりしていれば、おのずと学力・部活動の結果もついてきます。また、「たった一言が心を傷つける、たった一言が心を暖める」という言葉を各クラスに掲示をし、常に一言の大切さを年次団としても伝えてまいりました。年次全体にも浸透しつつあります。ご理解をお願いいたします。

およそ1100日の高校生活のうち、270日が終わりました。3学期は各クラスのこのメンバーで過ごす最後の学期となります。その中で、親友を作り、一つ一つコツコツと書いて覚え、考える力を身につけ、将来のことを見据え、自分自身を磨く、保護者とトコトン将来のことを話する、こういうことを3学期で実践してもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

今回の通信は冬休み特集と連絡確認事項などです。一生懸命頑張れ、T O M I N I S H I 1年次生！！



1年次からの連絡・確認事項

- ①**冬季補習**：12月24日（水）から26日（金） 3日間：午前実施。
- ②**個人面談**：1月13日（火）から20日（火）各クラスで開催されます。今回は生徒の皆さんと担任との間で実施します。
- ③**冬休み課題**：一覧表を12月23日（火）に配付してあります。スタディサプリも活用してしっかり取り組んでください。
- ④**生活全般**：昼夜逆転のような生活リズムに陥らないよう、2学期の生活のリズムを守って生活を送ること。また、交通事故やトラブルに遭わないように気をつけること。また、スマホ及びSNSの使用には特に留意すること。
- ⑤**家族での体験**：冬休みの中で、大切な時間を可能な限り家族での活動で過ごしてください。その体験は夢ログに記録しておいてください。クリスマス、正月を迎えます。例えば、様々な家族団欒、オープンキャンパスを兼ねた家族旅行、農作業体験、ボランティア活動など。
- ⑥**「たった一言が心を傷つける、たった一言が心を暖める」**：1・2学期の間、この言葉を担任の先生から常に伝えています。一言をLINEなどに置き換えても同じメッセージです。
- ⑦ **It always seems impossible until it's done.**
(Nelson Mandela) どのような人でしょうか？そしてこの言葉をどのように訳しますか？なぜ、このような表現をしたのでしょうか？

12・1月日程

12月24日（水）冬季補習①
12月25日（木） 〃 ②
12月26日（金） 〃 ③
12月31日（水）大晦日
1月 1日（木）元旦
1月 8日（木）始業式・課題テスト
1月 9日（金）課題テスト・年次集会
1月12日（月）成人の日
1月17日（土）進研模試

1～3月日程

1月17（土）・18日（日）全国共通テスト
1月30日（金）予餞会
2月 3日（火）育成型選抜
2月11日（水）建国記念日
2月28日（木）卒業式予行・賞状授与式
3月 1日（木）第77回卒業式
3月2・5・6・10日 年度末考査
3月 3日（火）4日（水）一般選抜
3月24日（火）終業式

生物としての自覚を取り戻せ

こんなはずではなかったと思う前に、生の世界を直感力で切り抜ける能力を鍛えないといけません。そのためには、現実の世界と身体を使ったりアルな付き合いをする必要があります。実際のフィジカルな接触でも、声だけのやり取りでも、気配を感じるだけでもいい。インターネットで情報をやり取りして終わりではなく、会って、作業をともにして、相手の世の中に入って、ときにギクシャクしてみる。そうすると、いろいろな感情が芽生えます。相手に受け入れられる、拒否される、裏切られる。こうしたことを繰り返して、人間と人間が付き合うということはこういうことなのだと学んでいく。

こうして自分の価値が単純なものではなく、さまざまに受け入れられるものであることがわかっていくのです。自分を受け入れる友だちだけと付き合っていれば生きる意味がわかるかということではありません。いろいろな人間関係があるからこそ、自分が存続できます。人間は他者の評価によってつくられるものです。だから、いろいろな自分をつくっておかないと、ある特定の個人が自分を拒否、否定したら自分はなくなってしまう。自分を支え、自分に期待をしてくれる人がいろいろいるからこそ、どこかで信頼を失っても、どこかで関係が崩れしまっても、生きられるのです。・・・・・・・・・・

「スマホを捨てたい子どもたち」山極 寿一

一生懸命頑張れ！
富西1年次生！！